



第27回駿輝祭のご案内 10月26日(土)・27日(日)飯能キャンパスにて開催

毎年駿輝祭の初日に開催しているホームカミングデーをご存知でしょうか。卒業生と教職員が母校で集い、楽しいひと時を過ごしていただく同窓会のイベントです。恒例となりました父母会主催の講演会では、プロサッカー指導者の佐々木則夫氏をお招きする予定です。また、講演会の後は懇親パーティーを行います。近年はお子様連れのご来場も多く、和やかな雰囲気の中で懐かしい同窓生や教職員との懇談を楽しんでいただいております。是非この機会に、大学時代のお友だちと連絡を取り合ったり、母校に遊びに来てください。

ホームカミングデー懇親会

軽食(オードブル・サンドウィッチ・デザート等とお飲み物)をご用意しております。

日時：10月26日(土)17時～18時30分

場所：第二講義棟15階レセプションルーム

会費：無料



昨年度の懇親会

佐々木則夫氏講演会

講演テーマ

「夢と出会いが力に・・・
チームワークとコミュニケーション」

日時：10月26日(土)

15時～16時30分

場所：第二講義棟4階7405教室

会費：無料(先着順・申込不要)



佐々木則夫氏プロフィール

1958年山形県生まれ。さいたま市在住。

帝京高校・明治大学を経てNTT関東サッカー部で選手として活躍。現役引退後、NTT関東サッカー部・大宮アルディージャでコーチ、監督を歴任。

2006年なでしこジャパン(日本女子代表)コーチ就任。2007年監督就任。

2011年 FIFA女子ワールドカップドイツ2011で日本サッカー初の世界一へ導く。翌2012年のロンドンオリンピックでは銀メダル獲得。

国民栄誉賞(サッカー日本女子代表)、紫綬褒章、2012 FIFAバロンドール女子最優秀監督賞受賞。

ゼミ展示もお楽しみに！

今年の駿輝祭では15のゼミナールが出展し、日頃の学習成果を発表します。同窓会では、ホームカミングデーにお越しの皆さまにアンケート(人気投票)を実施し、理事長賞・学長賞・同窓会長賞として優れたゼミ展示を表彰いたします。たくさんの卒業生からコメントをいただきたいと思っております。是非ご協力をお願いいたします(アンケート用紙はホームカミングデー懇親会会場、同窓会ホームページ等で配布いたします)。

NACK5の公開放送、コンサートも同日開催！

恒例となりましたFM NACK5の公開放送、旬なアーティストを迎えてのコンサートも併せてお楽しみください。

★FM NACK5 ヒッツ・ザ・タウン

日時：10月26日(土)12時55分～17時55分

ゲスト：Galileo Galilei、中島愛、くみつきー(舟山久美子)、GENERATIONS from EXILE TRIBE

場所：講義棟1階

★コンサート Live in Syunki Fes 2013

日時：10月26日(土)16時～(開場15時～)

出演：the telephones、Galileo Galilei

場所：体育館2階

お問い合わせ：駿輝祭実行委員コンサート部

042-972-1169

長野県支部会を発足しました！

9月14日(土)、ホテルメトロポリタン長野にて、同窓会長野県支部会を開催しました。これで昨年の北海道・新潟に続く3つ目の支部会設立となります。

15時からの発足会には、長野県在住の同窓生を中心に、同窓会役員や吉田邦久理事が出席しました。開式に当たり、長野県支部会の樋口雄一さん(平成5年法学部卒)より、「長野にゆかりのある卒業生が肩肘張らずに集う温かい会にしたい」とのご挨拶があり、中島俊夫同窓会長、吉田理事からは支部会発足への祝辞が述べられました。出席者の自己紹介の後、桐生岳副会長より同窓会の活動報告、廣瀬尚委員より本学の近況報告があり、発足会は無事終了。当日は同じホテルで父母会の長野県支部会も開催されており、16時から同窓会・父母会合同で懇親会を行いました。

懇親会後は会場を移して二次会となり、在学時の思い出や各自の近況について懇談が続きました。懇談のうちに散会となりました。ご出席いただいた皆さん、ありがとうございました。出席された方々にとって、母校や同窓の仲間との繋がりを感ぜられた一日であれば幸いです。(同窓会事務局)



同窓会総会

懇親会開催報告

5月25日(土)、平成25年度同窓会総会を駿河台大学飯能キャンパスにて、懇親会をホテル・ヘリテイジ飯能(旧飯能プリンスホテル)にて開催いたしました。

総会に先立ち11時半から同窓会役員会が開かれ、昨年度会計報告の他、今年度の事業計画案について審議されました。15時半から開始した総会では、冒頭で同窓会名誉顧問の川村正幸学長より挨拶をいただきましたので、ご紹介します。



川村正幸学長

川村正幸学長(同窓会名誉顧問)からのご挨拶

同窓会の皆様には、口頭より大学及び学生の教育についてご支援をいただき、御礼申し上げます。同窓会からのご支援としては、平成25年度の寄附講座として、キャリア育成科目の「インターンシップ」、「森林文化実習」、「まちづくりの実践」という3つの講義にご寄附いただいております。さらに、これらの講義に対して、卒業生の皆様方にも講師として参加いただく等の多大なご協力をいただいております。

大学の現状について少しお話をさせていただきます。少子化が進行する中で本学も学生確保に苦戦が続いており、残

念ながら、今年度の新入生は5学部中、法学部・経済経営学部で定員割れとなり、総入学定員9200名を確保できませんでした。こういった厳しい状況を打破しようと私たちは努めております。

本学では一昨年に創立25周年を迎えたところですが、現在創立30周年に向けて新たなステップアップを目指し、大規模な大学改革に取り組んでおります。

その基盤として、昨秋に、本学の運営の基本方針を「駿河台大学憲章」に決めました。さらに、本学の中期計画をまとめた「駿河台大学グランドデザイン」を公表いたしました。これは駿河台大学が目指すべき大学像を明確に示した上で、その実現に向けた計画を定めているもので、この2つが、現在進めている大学改革の大きな柱になっています。これらにおいては、「愛情教育」を本学の建学の精神としており、また、本学のミッションを、埼玉県西部地域に根ざした地域と共に発展する大学と位置づけています。

現在進めている改革の第一は、本年度から実施している新カリキュラムによる教育改革です。今日の大学教育の目的は、単に高度な専門知識を教授するというだけでなく、社会人として通用する力を身につける教育を行う必要があるというのが一般的に認識されております。社会人基礎力を高め、社会人として活躍できる人間に育てていくというのが、新カリキュラムの重要な目的となっています。本学は1年次から卒業するまで、社会に目を向けた教育を行うとともに、体系的で効果的なキャリア教育を実施していきます。さらに、すべての講義・演習において、学生の社会人基礎力を高めることを重要な柱と位置付けております。

大学教育について文部科学省を中心に色々な方針が示されておりますが、学生が主体的に考え、行動する力を養う教育の重要性が指摘されています。そのため

には、双方向型の能動的学習(アクティブラーニング)、ディスカッション型の講義(白熱授業)の推進が必要とされております。本学でも、このような新しいタイプの講義を実施するための取り組みを進めており、講義棟の3404教室を、このような講義に適した環境に改修しています。

第二は、一人でも多くの学生が就職できるよう、キャリア教育と連携した親身な就職支援に向けた改革です。本学独自の組織である、キャリア教育担当の教員と職員が一体となったキャリアセンターを中核として、全学をあげて就職支援の強化に努めております。就職率というのは、入学者の確保という点で大変重要な要素になっていきますので、卒業生の皆様には今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

第三には、学生が充実した楽しいキャンパスライフを送れる大学を実現するための改革です。従来の教員による学生サポートに加え、今年の新入生より職員によるサポートシステムを導入しており、学生さんは2年次以降も、教員だけでなく顔なじみの職員にも相談できる体制が作れるものと期待しています。また学生支援の強化という点で、「学生支援課」を設け、事務室を全面的に、学生に利用しやすい改修いたしました。また、大学生活をより快適に過ごせるようにアメニティの充実を図っています。例えば、メディアセンターの5階に新しく学生ラウンジを新設したのをはじめ、学生会館の1階にセブンイレブンを誘致したり、女子学生向けのパウダールームを学内各所に設置したりしています。

大学は、卒業生の方が誇りを持てる場所でないといけないと思っております。今後とも、同窓会の皆様からの忌憚のないご意見、アドバイスをいただいで、より一層の改革を進めていきたいと思

ますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。以上、簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

平成25年度同窓会総会議事

- 1 平成25年度役員について
- 2 平成24年度事業報告及び収支決算報告について
- 3 平成24年度会計監査について
- 4 平成25年度事業計画及び収支決算案について

※資料は同窓会ホームページに掲載しております。

24年度事業報告の最後に、同窓会の寄附講座である「インターンシップ」、「まちづくり実践」の活動状況について、担当の佐古年穂先生よりスライドを用いたご報告がありました。議事は中島俊夫同窓会長の進行で審議され、出席者との意見交換を経て異議なく承認されました。

グランドデザイン支援費について

同窓会では、25年度新規事業として「グランドデザイン支援費」(予算1000万円)を計上いたしました。

「駿河台大学グランドデザイン」は、開学30年(2016年)に向けて本学が実現すべき目標と計画を示したもので、「愛情教育」の理念に立ち戻り、確かな教育力を持った、学生の面倒見の良い、学生満足度の高い大学にすることを宣言しています(詳細は大学ホームページをご参照ください)。

今回の予算立てについて中島会長より、「大学の変革期に、同窓会でも最大限の努力、協力をしむつと務めました。大学からの要請もしくは同窓会からの提案に対し、必要性が認められれば予算範囲内で対応したい」との説明があり、母校との連携、協力について改めて出席者に理解を求めました。

総会終了後は17時より会場をホテル・ヘリテイジ飯能に移し、懇親会となりました。

桐生岳副会長による乾杯のご挨拶の後、同窓会寄附講座「森林文化実習」について、原聰教授から御礼と活動状況のご報告をいただきました。恒例の余興では、モダンJAZZ研究会の在学生7名が「ALL BLUES」・「Corcovado」の2曲を披露。新井克明副会長の中締めの後、校歌斉唱をもって懇親会はお開きとなりました。



懇親会集合写真



JAZZ研究会の演奏

平成25年度同窓会役員のご紹介

役職	氏名	卒業年	学部
会長	中島 俊夫	平成7年卒	法学部
副会長	桐生 岳	平成5年卒	法学部
会計	新井 克明	平成12年卒	文化情報学部
監査	飯塚小穂子	平成9年卒	文化情報学部
委員	長嶋 亮吉	平成13年卒	経済学部
幹事	朝田 淳	平成7年卒	文化情報学部
	富岡 勇哉	平成4年卒	法学部
	廣瀬 尚	平成5年卒	法学部
	市川 紀子	平成7年卒	法学部
	森 克啓	平成9年卒	法学部
	森 健	平成16年卒	経済学部
	三枝 桂子	平成18年卒	現代文化学部
	岡部 浩一	平成20年卒	経済学部
役員	氏名	所属	
	雷 光一	キャリアセンター事務部長	
	高塚美保子	キャリアセンター事務部就職支援課長	
	木村 得朗	学生支援部長	
	根岸麻衣子	学生支援部学生支援課(平成16年法学部卒)	
	柳下 一義	学生支援部学生支援課(平成18年法学部卒)	
	中川 順子	学生支援部健康増進課(平成16年経済学部卒)	

近年都内のホテルを会場としている総会ですが、今年は12年ぶりに飯能での開催となりました。当日は学生スタッフによる「キャンパスツアー」を実施し、久しぶりに母校を訪れた卒業生は、近年リニューアルしたキャンパスの様子に驚いているようでした。

卒業生もお気軽にご利用

メディアセンター

卒業生の入館・資料閲覧は無料です。5階はこの4月より「ビューラウンジ」としてリニューアル。「ファミリーマー」の自販機コーナーを設置し、キャンパスが一歩できるくらしの空間として開放していきます。

大学会館1F

明るい学食をめざして机とイスを入れ替えました。南側エリアに「セブンイレブン」もオープンし、ますます便利に。安くておいしい懐かしの学食メニューをご用意。

トレーニングセンター

体育館1階に開設したトレーニングセンター。最新鋭のマシンを備えた本格的ジムです。事前講習を受ければ卒業生も無料で利用できます。



パウダールーム



トレーニングセンター



ビューラウンジ

祝ソチ・パラリンピック出場(内定)

駿河台大学体育課職員 鈴木猛史さん

本学体育課職員の鈴木猛史さん(平成23年文化情報学部卒)が、2014年3月に開催されるソチ・パラリンピック「アルペンスキー競技(座位)」の日本代表選手に内定しました。



同窓会の支援で購入したアウトリガー

鈴木さんはソチ出場が確定すると、「トリノ」「バンクーバー」選手と3大会連続のパラリンピック出場となります。

ソチパラリンピック内定までの道のりは長く険しいものだったと、内定までを振り返っていました。

2012年10、11月オーストリアで合宿。雪上で本格的な実践練習を開始。翌年1月イタリア大会(4レース)・スイス大会(4レース)。2月スロベニア大会(2レース)・世界選手権(5レース)。3月ロシア大会(3

レースと、世界各国で戦い抜き好成績を収め続けた結果、2012-2013年シーズン「ワールドチャンピオン」を獲得。今年1年の成績が内定を確実にさせました。

また、鈴木さんは国際大会で結果を出し続けている理由の一つに、同窓会の支援で新しく購入した「アウトリガー」(※アウトリガーとは、障害者スキーで用いられるストック代わりに使用される用具で、先端に小さなスキーがついていてグリップ(握り)部分につけられた紐で滑走状態にしたり折りたたんでストックとして利用したりするもの)を使い始めてから特に調子がよいと話しています。

このアウトリガーは、バンクーバーパラリンピックから使い初め、直ぐに銅メダルを獲得。その後も好調をキープし続けており、ソチでも使い表彰台を狙っているとのこと。

今では鈴木さんにとって、世界で活躍するための大切な相棒だと話していました。



12-13シーズンで獲得したトロフィーとメダル

現在は、ソチパラリンピックに向けてプレッシャーを感じながらもトレーニングに励んでいます。駿河台大学のトレーニング施設は、他の代表選手からも羨ましがられるような環境であり、そのような環境下で日々トレーニングが出来ることや、応援してくださる方々、競技に専念できる環境を提供していただいている駿河台大学に感謝していると語りました。

「鈴木さんからのメッセージ」

皆さんいつもご支援、ご声援誠にありがとうございます。スキー競技は個人プレーと思われがちですが、私はチームプレーだと思いたいしに望んでいます。それは、皆さんの協力無くして今の結果は無いと思っています。同窓会の皆さんを初め、関係者の皆さんのおかげと感謝しております。ソチパラリンピックに出場確定した際には、バンクーバーの銅メダルよりもきれいな色のメダルを獲得し、良い結果報告が同窓会の皆さんへ出来るよう、これからも日々精進していきたいと思えます。応援宜しくお願いします。



ジャパンパラリンピック回転競技にて

同窓会からの卒業寄付について

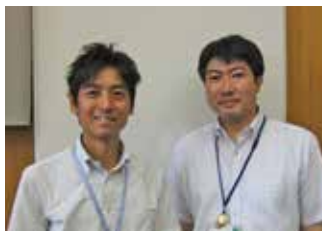
平成24年度卒業生から大学への卒業寄付として、楽器4台(ピアノ・コンサートトム・クラリネット・スライドホイッスル)を寄贈しました。寄贈先の吹奏楽部は、学内イベント以外にも、介護施設や保育所、地元商店街での訪問演奏等で、ますます活躍の場を広げています。

学生表彰対象者への副賞寄付について

成績優秀者や部活動・ボランティア活動等で顕著な活動をした学生を表彰する学生表彰制度の対象学生46名について、同窓会から副賞として図書カード(各1,000円分)を贈呈しましたので、ご報告します。

卒業生が特別講義「経済Today」で講師に

「経済Today」は、社会の第一線で働く方から、その仕事内容や社会との関わり等をお聞きし、「社会の現場」から経済の実相に迫っていく学生に人気の授業で、本学の卒業生も度々講師を務めています。



長嶋亮吉さん(左)と中島俊夫さん(右)

7月10日(水)の「経済Today」では、飯能市役所に勤務している、中島俊夫さん(平成7年法学部卒/同窓会長)と長嶋亮吉さん(平成7年経済学部卒/同窓会会計監査)が特別講義を行いました。市役所が担当する幅広い業務の実際や、頻繁な人事異動で求められる適応能力等、具体的な現場の声を聞いた受講生は、公務員のイメージを新たにするとともに、その責任の重さや、やりがいを認識していたようです。

また、翌週の17日は、日本システムランド(株)勤務の岡部浩一さん(平成20年経済学部卒)、(株)トミーヒルフィガージャパン勤務の熊谷夏葉さん(平成22年現代文化学部卒)、日本赤十字社埼玉県赤十字血液センター勤務の田中祥貴さん(平成23年法学部卒)の3名が講義を行いました。仕事を通して学んだこと、学生時代に経験して欲しいこと、就職活動の体験談等、それぞれの業種で活躍する卒業生の貴重なアドバイスに、受講生も聞き入っているようでした。

身近な社会人である卒業生の活躍は、在学生にとって大きな励みとなります。お忙しい中、そのご活躍を紹介していただいた講師の皆様へ感謝いたします。

(左から)田中さん、岡部さん、熊谷さん



学生懸賞論文の表彰式が行われました

昨年度に実施した法学部懸賞論文コンテストの入賞6作品について、同窓会で懸賞金を援助しましたので、ご報告します。7月10日(水)に行われた表彰式では、力作を仕上げた入賞者に、北原仁学部長から表彰状と懸賞金が贈られました。1等は、菅原太さん・村上豊さん・山口咲季さん(共に法学部4年)の合作で「不正アフェス禁止法の概念」。仲間と奮励して獲得した今回の入賞に、学生も自信をつけたようでした。



駿河台大学賞与奨学生・日本学生支援機構奨学生の方へ

駿河台大学賞与奨学生の方
毎年11月頃に、本学よりご登録住所に「勸奨状」をお送りしています。その後、振込用紙をお送りしますので、12月末日までに返還金の納入をお願いいたします。

日本学生支援機構奨学生の方

奨学金の返還は、卒業した年の10月27日(金融機関の休業日)の場合は翌営業日(日)から、月賦返還または月賦・半年賦併用返還により行われます。ただし、奨学金の返還が経済的に困難になった場合は、「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出し、必ず手続きをしてください。各手続の詳細については日本学生支援機構のホームページをご覧ください。奨学金返還相談センターにご相談ください。

ゴルフ部OBコンペを開催

報告・吉田 将卓さん
(平成10年法学部卒)
平成25年4月21日(日)に、栃木県芳賀郡の芳賀カントリークラブにて、ゴルフ部OBコンペを開催致しました。軽暖の心地よい気候の中、卒業生9名・現役生3名、合計12名の参加者にて親睦を深めることができました。

現在、ゴルフ部OB会には約80名の卒業生がおります。卒業生相互の懇親を目的に年2回(春・秋)のゴルフコンペを開催し、さらに現役ゴルフ部員の有志にも参加をしてもらう事で交流を深めております。



前列一番右が吉田さん

実践ビジネスセミナーのご案内

仕事の都合や現住所の関係で参加ができない卒業生も多くありますが、今後も継続的に開催したいと思っております。

2013年7月19日(金)、小澤伸光先生による卒業生対象の「実践ビジネスセミナー」(第1回)を開催しました。

「新書・文庫を素材として「経営」を議論する」が今年のテーマ。第1回は、先生がピックアップした経営関連書の中から、セミナーの教材とする新書・文庫の選定を行いました。

今年も、卒業学部・学年を超えた交流の機会にしたいと思えます。次回からのご参加も歓迎いたしますので、どうぞお気軽にお申込みください。
※開催スケジュール等の詳細は、同窓会ホームページをご参照ください。

北海道支部会を開催しました

報告・上見 国敏さん
(平成7年経済学部卒)
2013年7月13日(土)、札幌京王ラザホテルにて18時30分より第2回同窓会地方支部丹頂会を開催しました。参加者は小原健三郎会長(サワホーム北海道(株)副主査)、小野寺幸司氏(北見市立中学校教員)、事務局の上見国敏氏(上見ビル(株)取締役社長、来賓に柏倉柳一郎氏(SCG取締役副社長/平成6年経済学部卒)を招いて開催されました。(以下敬称省略)

会長からは開会あいさつの後、2014年第3回会場を北見市、2015年第4回会場を釧路市で開催する旨の報告があり、参加者全員了承を得ました。

国内最大の投資銀行であるソフトバンクインベストメントグループのM&A部門であるSCG副社長として活躍される柏倉氏より、日本の金融面からの経済情勢分析について報告があり、小野寺氏からは、子供たちの教育環境と子供の将来像について、教育手法と社会の求める人材との間にミスマッチのあることが指摘されました。

採用する立場から、精神的な耐性と気力のある人格形成と、知識意欲のある人材が圧倒的に不足していることが報告され、母校の特色でもある実務家の育成に期待がかかる意見がなされました。

大学卒業後、各界で活躍する者が揃って意義のある意見交換がなされ大変有意義な同窓会となりました。

二次会は札幌すすきのに移動し議論の継続をもって散会しました。

